



母の報たるい

果てしなく広がる夢を抱いて
明日へはばたけ! タルのチピッ子

1994

1月1日号

No. 440

新 年 特 集

新春座談会 ～町長と語る～



ふるさとに誇りと愛着のもてる

生き生きライフのまちづくり



出席者

- | | |
|-----------------|----------|
| 宮代 一市さん (61) | 垂井 東 |
| 森 俊子さん (28) | 宮代 表 |
| 内海 雅敏さん (22) | 佐 原 |
| 川崎 秀二さん (40) | 栗 原 |
| 栗田 瑞枝さん (65) | 府 中 |
| 川上 和子さん (39) | 岩 手 |
| 中村 広思さん (68) | 町長 田中 幸雄 |
| 司会 社会教育課長 衣斐 正良 | |

恒例となった新春座談会「町長と語る」。今年は各地区から生き生きライフに携わっている7名の方に参加していただきました。

「ふるさとに誇りと愛着のもてる生き生きライフのまちづくり」をテーマに、田中町長を囲み、様々な角度から大いに語り合いました。

司会 まず、自己紹介をお願いします。

宮代 垂井地区青少年育成推進委員会の会長をしています。今は洋ラン作りに青春を燃やしています。

川上 絵本の読み聞かせの会「ぼけっと」の会員として、皆さんのお役に立てればと頑張っています。

森 特別養護老人ホームいぶき苑に勤務しています。大先輩であるお年寄りのお世話をさせていただいています。

川崎 青年のつどい協議会の会長をしています。町村合併40周年のイベントとして、現在竹中半兵衛のビデオ製作に取り組んでいます。

内海 陸上協会の役員として、完走大会や駅伝大会などのお手伝いをしています。

栗田 ボランティアグループ「つばき会」の会員です。

入会してから人とふれあう機会が増え、新しい世界が広がることに喜びを感じています。

中村 岩手公民館と菁莪記念館の館長を、また少年少女合唱団の指導者として、張りのある毎日を送っています。



中村 広思さん

司会 それでは、まず垂井町の良さなどについてお聞かせください。

水がうまい

宮代 なんといっても水がうまいということだと思いま



宮代 一市さん

す。垂井には地名の起源ともなった泉がありますが、やはり水が生活の基本ですから。

目玉商品がない

川崎 自然、歴史、文化の調和がとれた町だと思います。ただそれぞれが小粒で、これぞ垂井町という「目玉商品」がないように思います。

古代のまちづくりがよみがえった

中村 やっぱりこの地が、美濃の国作りの中心地であったということではないでしょうか。それが府中の国府跡、南宮大社、当時の役人が住んでいた表佐、そして美濃国分寺であるわけです。

この4つの文化遺跡を結ぶ中心にタリイピアセンターが出来たということは、古代のまちづくりが今によみがえっ

たようでロマンを感じます。

竹中半兵衛の大ファン

川上 12年前に安八町から移り住みました。垂井町を選んだ理由は、まず主人が竹中半兵衛の大ファンであったこと。そして自然に恵まれ、子どもを育てるのにいい環境だと思ったからです。

実際この地に住んでみて、歴史に残るたくさんの出来事がこの地で起きていたことに感動します。垂井町の人間としてこの地をよく知り、次の世代に語り継いでいかなければならないと思います。

若者が老人をサポートする体制

また福祉面でも、デイサービスセンターでの介護者教室や近隣ボランティア活動など、充実してきていると思います。ただそういう場に、若い世代の人の姿がないのが残念です。これからの高齢社会を支えるのはやはり今の若い人たちですから、そういう彼らが参加しやすい場をサポートする体制を作ることが必要ではないでしょうか。

野菜が安い

森 いぶき苑やデイサービスセンターなど、身近に福祉施設が2つもあるだけでも、素晴らしいことだと思います。

また国道沿いには色々な店が出来、様々な情報が得られるようになった一方、自然もたっぴりと残っており、調和のとれた住みやすい町だと思います。そして何より野菜が安い！（笑い）



森 俊子さん

地域で老人を支える

栗田 福祉の問題に関して、若い人たちが介護などの実際についてもっと勉強してほしいと思います。これからの老人介護は家庭だけでは支えきれないのではないのでしょうか。各地域で老人を支えていくことが必要になってくると思います。そのためには若い人たちの参加がどうしても必要です。若い人たちを引き寄せ、

老人と一緒に活動する行事や施設を充実することが必要だと思います。

垂井町はどこにあるの

内海 仕事の関係で今は岐阜市に住んでいます。この前も職場の同僚に「垂井町はどこにあるの」と聞かれて、色々考えた末に結局「関ヶ原町の隣の町」と答えました。（笑い）垂井町は機能性と自然がうまく融合した、岐阜県にも珍しい町だと思います。しかし同じ岐阜県人でも垂井町を知らない人はたくさんいます。やはり垂井町をアピールする「目玉商品」がないのではないかと思います。

必要とされている自分が発見出来る場

それと若者の社会参加についてですが、確かに意識的に敬遠する傾向があると思います。しかし参加出来る場を求めているのも事実だと思います。私は陸上協会の最年少役員ですが、自分が必要とされていると思うとうれしいですし、そういう場が与えられたことに感謝しています。ですから、必要とされている自分が発見出来る場があれば、若

者はどんどん社会参加することだと思います。

住みやすく国際的な町

町長 今年で町村合併40周年を迎えます。この40年間で人口は約8,000人も増えましたが、このことは働く場が豊富で、住みやすい町の証明ではないかと思っています。また今年の成人式には10人の外国人の方が出席されます。垂井町も国際的になりつつあると思います。



田中 町長

文化財が豊かな町

また垂井町内には多くの文化財があります。文化財は住民共通の財産であり、残すべきものはしっかり残していかなければなりません。垂井町のシンボルともいえる大ケヤキの修復工事や美濃国府跡の発掘調査も、そのような考え

方で進めています。

歴史的遺産を広める

現在タルイピアセンターでは、オープンに向け図書や郷土資料の提供を募っています。今までに町の隠れた歴史的遺産がどんどん出て来ています。センターを通じてそうした町の財産が多くの人目に触れ、広がっていくことは素晴らしいことだと思います。こういふことで、文化や歴史に対する町民の意識が変わってくるのではないかと思います。

司会 昨年9月に生き生きライフの推進構想がまとまりました。まず町長と、構想立案の関係者のお一人である中村さんにその構想の意図などについてお話していただきました。



社会教育課長

4つの喜びを実感

町長 ふるさとに誇りと愛着を持てる人を1人でも多く育てるにはどう取り組めばよいのか、ということが推進構想の基本です。具体的には、健康であること、学ぶこと、ふれ合うこと、支え合うこと、この4つの喜びを実感出来ることを目指しています。

ここで推進構想の中に盛り

うめぼし

2月、3月花ざかり、
うぐいす鳴いた春の日の
楽しい時も夢のうち。
5月、6月実がなれば、
枝からふるいおとされて、
きんじょの町へ持ち出され、
何升何合はかり売り。
もとよりすっぱいこのからだ、
しほにつかってからくなり、

しそにそまって赤くなり、
7月、8月あついろ、
3日3ばんの土用ぼし、
思えばつらいことばかり、
それもよのためひとのため。
しわはよってもわかい気で、
小さい君らのなかま入り、
うんどう会にもついていく。
・・・＜中 略＞・・・
なくてはならぬこのわたし。

込まれている「うめぼし」という詩を紹介します。この詩から、皆さんに生き生きライフのイメージをふくらませていただきたいと思います。

フレッシュな気持ちで 人生を送る

中村 高齢化社会に向けてどう生きていくか、それぞれの生き方をそれぞれが考える必要があります。生き生きライフというのは、簡単にいえばフレッシュな気持ちで人生を送るということです。そして、この生き生きライフを目指して、垂井町のまちづくりを今後どのように進めていくのか、生き生きライフを基にして、垂井町をどのように活性化していくのか。その手段として推進構想が作られたといえます。

司会 それでは、生き生きライフのまちづくりを進めていくにはどうすればよいか話し合っていたきたいと思います。

町中を花でいっぱい

宮代 垂井地区では公民館活動の一環として、花いっぱい運動を展開しています。21

世紀に向けて、花づくりはまちづくりの大変重要な要素だと考えています。最近では「咲花草クラブ」というボランティアグループも出来、自発的な花づくりの活動を子どもからお年寄りまで、世代を越えて喜んでやっています。町中に花を作ることが絶対必要です。

生き生きライフは心の問題

また私の町内では、家族で参加出来る手作り忘年会を毎年行っています。すべての世代が集まって飲み食いし、交流を深める。自然と顔なじみになります。

生き生きライフは心の問題だと思います。その意味で、世代を越えて交流出来る場が大切で、そういう場を多く作ることで、心を外に開いた人が多く育つのではないのでしょうか。

地域で行事に参加

川崎 表佐地区ではPTA活動も盛んで、地域みんなが一緒になってスポーツ大会や行事に参加しています。そうすることによって地域の人とのつながりが出来、交流も深まります。やはり、みんな

と一緒にやっていく人材を作ること、そして知り合い、話せる喜びを分かち合えることが大切だと思います。



川崎 秀三さん

近隣とコミュニケーションを

栗田 最近は隣同士の付き合いが本当に少なくなってしまいました。隣近所のコミュニケーションを図る行事がなくなり、お互いが知り合わなくなったことは、今の生活のあり方だとは思いますがさみしいことですし、昔がなつかしいです。

昔を知っている者からすれば、生き生きライフ、特にふれ合うことの喜びを感じられる場を作ることが必要ではないかと思います。

祭りは町の活性化につながる

森 若い世代の人たちは、今自分の町や地域で何が行

れているか知らなさすぎると
 思います。ですからこの座談
 会のように、色々な世代の人
 が集まり、話し合い、交流出
 来る場がもっと地域や町全体
 にあればと思います。そうい
 う場に参加することにより、
 若い人たちの自分の回りを見
 る目、垂井町を見る目が開く
 のではないでしょうか。

その点、祭りは地域に根付
 いているし、家族で参加出来、
 若者や地域、町の活性化にも
 つながると思います。

栗原踊りが復活

町長 今祭りの話が出まし
 ましたが、今年栗原踊りが復活
 しました。素晴らしいことな
 で、これからもぜひ続けてい
 ってもらいたいと思っています。
 垂井町の誇りも大切ですが、
 地域の誇りも大切です。や
 はり祭りは地域の誇りでは
 ないでしょうか。

この意味で、祭りは子ども
 がいてはじめて祭りになるの
 ではないかと考えています。
 子どもが祭りに参加してその
 祭りを知り、地域の色々なこ
 とを学ぶ。そして地域を誇り
 に思い、成長して子や孫に語
 り伝えていく。このことが地
 域、そして町の活性化につな

がると思います。



栗田 栗原踊りを教えるこ
 とが出来ることがあるうちに復
 活することが出来て、本当に
 良かったと思います。

町民全員が心を 1つにして踊れたら…

町長 昨年のふれあい垂井
 ピアで合原小の児童が、浴衣
 を着て栗原踊りを踊ってくれ
 ました。今、栗原の子どもた
 ちは自分たちの地域の踊りを
 しっかりと受け継いでいます。
 ほかの地域でもこのような伝
 承、あるいは復活の動きがあ
 ると聞いています。町民全員
 が心を1つにして、一緒に何
 かを踊ることが出来たら、最
 も素晴らしいことではないで
 しょうか。

新しい伝統を作る

川上 東大滝では、子ども

たちに何か1つ伝えていくも
 のを作ろうと、盆踊りを続け
 て10年になります。持ち前の
 団結力で、新しい伝統を作っ
 ていこうという気概で頑張っ
 ています。



施設が生き生きとする 運営体制

中村 生き生きライフのま
 ちづくりを進めていくのに中
 心となる施設は、文化の発信
 基地としての文化会館やタル
 イピアセンターです。これら
 の施設が生き生きとしている
 ことが、町民を生き生きとさ
 せることになると思います。
 そのためには、文化施設で行
 われる行事や企画などに町民
 が自主的に参加出来る運営体
 制が必要ではないかと思いま
 す。施設が生き生きとしてい
 るかどうかは、町民の利用い
 かんによります。町民が施設

の運営に関心を持ち、積極的
 に関わることによって、自然
 に町全体が生き生きとしてく
 るのではないのでしょうか。

若者が意識改革を

内海 まず若い世代の人た
 ちの意識改革が必要だと思
 います。高齢化社会で、老人を
 支えていくことを一番切実に
 考えなければならないのが今
 の若者です。もっとそういう
 使命感みたいなものを持たな
 なければならないのではないで
 しょうか。若者が先輩の指導
 を受けながら勉強し、そして
 それを後輩に教えていくとい
 う、お互いが支え合い、伝え
 合う町が、生き生きとした町
 だと思います。



人間は会話をする動物

川崎 人間は会話をする動
 物であり、色々な人と会話が

出来る場を持つことがどうし
 ても必要です。その場として、
 祭り、趣味、スポーツなどを
 地域にいくつも作り、育てて
 いかなければならないと思
 います。そして、こうした積み
 重ねが生き生きライフにつな
 がり、生き生きとしたまちづ
 くりになるのだと思います。

自然や歴史は共有物

それと、自然や歴史は次の
 世代に伝えていかなければな
 らないもので、自分の世代で
 壊してしまっはいけません。
 自然や歴史はみんなの共有物
 だということを考えながら、
 まちづくりを進めていく必要
 があると思います。

町長 垂井町に誇りと愛着
 を持てる人を、1人でも多く
 育てることが出来るようなま
 ちづくりを今後も進めていき
 たいと思っています。皆さん
 も、それぞれの活動の場で頑
 張っていただきたいと思いま
 す。

司会 話は尽きませんが、
 ここで終わりたいと思います。
 いただいた様々なご意見やご
 提案を、今後の生き生きライ
 フのまちづくりに生かしてい
 きたいと思っています。ありが
 とございました。

誇りと愛着のもてるまちづくりを

垂井町長 田中 幸雄

明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、日頃の町政に対しますご協力に深く感謝申し上げますとともに、本年が町民の皆様にとりまして辛い年でありますよう心からお祈り申し上げます。

さて、長引く経済不況の下、町の財政を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。その中で、「誇りのもてるふるさと」づくりに、垂井町の持てる力を十分に発揮し、緑あふれる「生き生きとした心のふれあうまち—健康文化都市—」づくりをめざした町政を力強く展開してまいりたいと存じます。

新年度では、快適なまちづくりを進めるため、下水道整備事業を本格的にスタートさせるとともに、昨年10月に着工した自由通路橋新設と垂井駅舎の橋上化工事についても来年3月の完成を目標に進め、町の新しい玄関口の整備を図ってまいります。

全国的に問題となっているごみの減量化、資源化については、皆様のご理解を得なが

ら更に進めてまいりたいと考えていますし、地域福祉の充実に向けては、老人保健福祉計画を策定し、新年度からこの計画を中心に施策を実施してまいりたいと思います。

また、この4月にはタルイピアセンターがオープンします。図書館、歴史民俗資料館、歴史文献センターの機能を有するこの文化複合施設を生涯学習の拠点とし、「生き生きライフ」事業を推進してまいりたいと存じます。

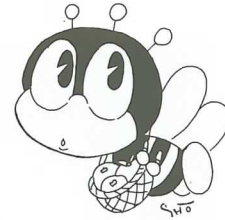
そして、町村合併40周年を記念し、5月には郷土の英傑竹中半兵衛公をたたえる「古戦場フェスティバル軍師サミットインタルイ」の開催や新修「垂井町史」資料編の発行など、わがふるさと・垂井町に誇りと愛着のもてるまちづくりを進めてまいりたいと存じます。

どうか、町民の皆様には、本年も昨年に増して町行政の運営に温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

生き生きライフ

生涯学習の仲間

(No.42)



垂井地区青少年健全育成地区民会議

近年子どもの数が少なくなってきています。1人の女性が一生の間に生む子どもの数は1.5人。親の立場からすれば、子どもが少ないほど十分に配慮が出来て良く育てることが出来るのではないかと思います。しかし、子どもは親の思いとは逆のようです。

大学生を対象とした調査によると、より多くの兄弟数を望み、また出生順位で第1子を希望する人は皆無に近いといった結果が出ています。学生は、上よりも出来るだけ下

の順位で育てられることを望んでいます。その理由は「親がうるさくないから」だそうです。親の思いとは逆に考える子どもの実態、ちょっと考えてみたいものです。

さて、今回は、垂井地区青少年健全育成地区民会議の活動を紹介します。

地区民会議では、垂井駅前や相川水辺公園などで花いっぱい運動を展開しています。12月には、子ども会垂井地区育成会など各種団体から80余名の皆さんがこの活動に参加



しました。この活動の特徴は、地域の大人に交じって50名程の小中学生がこの活動に参加していることです。地区体育祭や文化祭のみならず、年間を通して大人と子どもが共に活動することは、今最も注目すべきことです。

こうした活動を通して、昨日まで知らなかった子から声をかけてくれたならば、何か温かいものを感じます。また一緒に花を植えたおじさんやおばさんから声をかけられた子どもは、きっと温かいものを感じることでしょ。

共に考え、そして共に活動する視点を大切にしたいものです。

平成6年成人式を開催

～自由と責任の重さを考えよう～

成人の日を迎える皆さん、おめでとうございます。

教育委員会では、皆さんの人生の門出をお祝いするため、平成6年成人式を開催します。
と き 1月15日(土)午前10時～(受付午前9時20分～)

ところ 文化会館

対象者 昭和48年4月2日～昭和49年4月1日に生まれた方

※1月7日までに案内状が届かない方は、社会教育課(中央公民館内、☎22-1151内線223)へご連絡ください。

お元気ですか!! 保健センターです

結婚したい? したくない? 今のあなたの気持ちは...

現代の私たちの暮らしには、大量で様々な情報がはんらんしています。そして絶え間なく新しいトレンドが生み出され、家庭や社会には便利さと豊かさが満ちあふれています。

このような時代に生を受け、成長してきた世代＝現代の若者の結婚観は、親たちのそれとは大きく違ってきています。

進む晩婚化

平成3年の結婚件数は74万2,264組で、45秒に1組の割合

で新婚カップルが生まれました。その一方、平均初婚年齢は男性が28.9歳、女性が25.9歳と、男女共晩婚の傾向にあります。

それでは、交際相手を持たない人は、どこに結婚相手を求めているのでしょうか。表1を見てください。男女共約3割の人が「思いつかない」と答えています。また、恋人が出来ない理由として、「作りたいとは思わない」が最も多かったという調査結果もあります。

「結婚の利点」とは

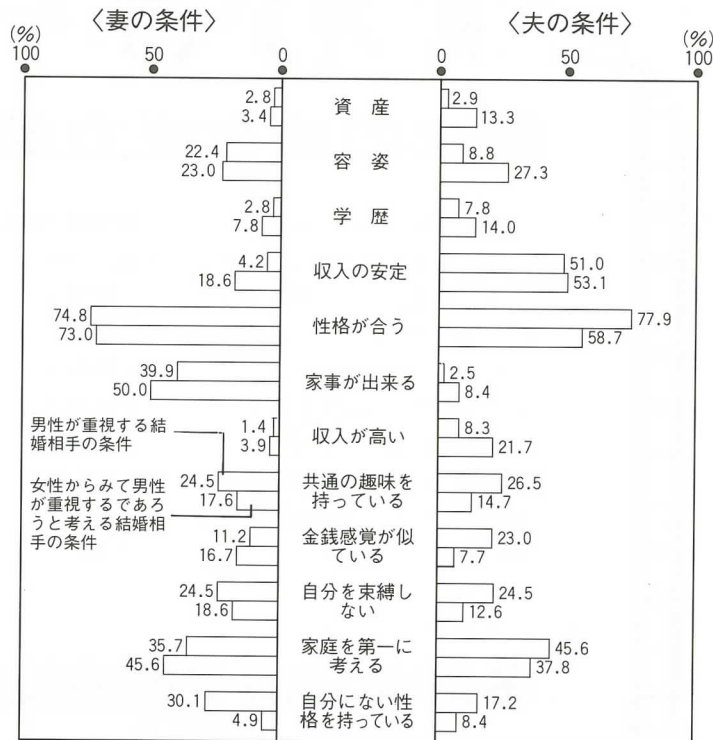
今の時代は、色々な価値観での様々な生き方が認められています。また家庭電化製品やコンビニエンスストアなど、便利な器具やサービスが普及し、独身でも比較的楽に暮らしていけるようになっていきました。しかも余暇を楽しむ仕掛けや相手にも事欠きません。

このような生活の中で、現代の若者は結婚生活を何を求めているのでしょうか。ある調査で、「一般に、結婚の利点は何だと思えますか」との質問に対し、20歳代の30%以上の男女が「精神的な安らぎ」をトップに挙げています。

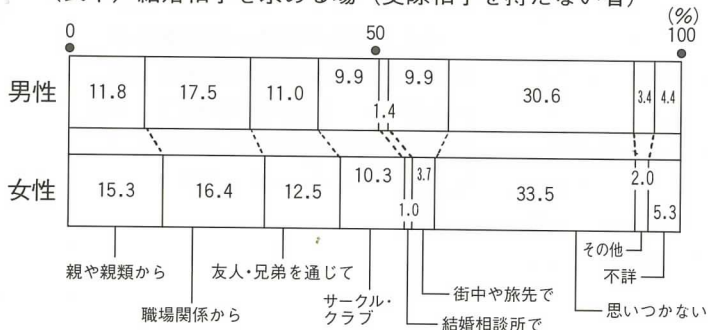
「ひところ3高・今4高」

結婚の条件として、女性は男性に〈高身長・高収入・高学歴・高層マンション〉を、男性は女性に〈かわいい・軽い・賢い・家庭的〉を求めて

〈表2〉重視する夫の条件・妻の条件



〈表1〉結婚相手を求める場 (交際相手を持たない者) (%)



いるといわれています。

しかし、重視する夫の条件・妻の条件として、〈3高・4高〉とは異なる姿が浮かび上がった調査結果(表2)もあります。

若者の結婚観はゆれていますが、時流に流されず、あなた自身の「トレンドな結婚生活」について考えてみませんか。



わがまちあそびこり

師走のまちを力走!!

～ 町一周駅伝大会 ～

第28回町一周駅伝大会が12月19日、南宮大社をスタートして、役場にゴールする7区間17.3*のコースで行われました。

一般男女（高校生を含む）、中学男女の4部門に60チームが出場。同僚や沿道の人々の声援を受けながら熱戦を展開しました。

各部門の優勝チームは次のとおりです。

○一般男子	クラレ	1°08'58"
○一般女子	FBBC	1°16'39"
○中学男子	不破中陸上A	1°06'52"
○中学女子	不破中陸上C	1°16'00"



◀ ゴールテープを目指して勢いよくスタート

多彩な合唱や吹奏楽が聴衆を魅了

～ 町音楽祭 ～



▲ 練習の成果を披露

町教育委員会は12月19日、香り高い文化に親しむ心豊かな人を育てようと、文化会館で町音楽祭を開きました。

町内の小・中学生をはじめ、ママさんコーラスグループ、公民館で練習を積み重ねている合唱グループなど9団体が合唱の部に、町青少年吹奏楽団など3団体が器楽・吹奏楽

等の部に出演。代表的な合唱曲や演奏曲などを披露しました。

特別出演の「つる」の合唱のほか、踊りや手話を交えたバラエティーに富んだ発表に、会場を埋めた約750人の観客は、大きな拍手を送っていました。

和やかにクリスマス会

社会福祉協議会は12月18日、勤労青少年ホームで身体障害者交流のつどいを開きました。

クリスマス会として開かれた今回のつどいには、町内の体の不自由な方とその介護者ら約30人が参加しました。

アトラクションでは、安八町の岩田時彦さんがギターを演奏。また、垂井の服部幸司

さんによるノコギリを使った「聖夜」などの演奏に盛んな拍手が送られました。

会食の後、ピンゴゲームや社会福祉協議会職員とハンドベル演奏を楽しみ、最後に参加者全員でクリスマスソングを合唱。会場は和やかな雰囲気になりました。

～ 身体障害者交流のつどい ～



▲ ギター演奏に聴き入る参加者

職員の寸劇にお年寄りら大喜び

～ デイサービスセンター ～

デイサービスセンターで12月13日から17日まで、利用するお年寄りを対象に「クリスマス会」が開かれました。

会には東保育園の園児が参加し遊戯を披露。また手作りのクリスマスカードをお年寄りに手渡し、手をつないで「お正月の歌」を歌いました。

この後、デイサービスセン

ターの職員が寸劇「花咲かしいさん」を披露。職員の熱演に、お年寄りや園児らは盛んに拍手を送っていました。

現在、1日平均13人のお年寄りが同センターを利用し、週に1度入浴サービスを受けたり、機能回復訓練などを行っています。



▶ 「メリークリスマス」——クリスマスカードを手渡す東保育園の園児

地域のホットな情報をお寄せください!

垂井町役場 総務課庶務係 (☎22-1151 内線214)

1月10日は「110番の日」

110番 あなたを守る ホットライン

110番は、強盗・窃盗・交通事故・けんか・酔っぱらい・不審者などの通報手段として、幅広く利用されています。皆さんと警察を結ぶホットラインとして、今やその通報件数

は5万件を超えています。

警察では、皆さんに110番に対してもっと関心を持っていただき、より身近に、より上手に利用していただくため、1月10日を「110番の日」と定めています。

＜110番の正しいかけ方＞

警察官が早く現場に到着出来るよう、気を落ち着けて、

- 何があったか
 - いつ
 - どこで
 - けが人は
 - 犯人は（人数、人相、服装、特徴）
 - 犯人の車は（車名、ナンバー、色、逃走方向）
- などについて、正確に要領よく通報してください。



税金メモ 贈与税の配偶者控除

所得税に配偶者控除があることはよく知られていますが、贈与税にも配偶者控除があることをご存じでしょうか。

贈与税の配偶者控除とは、

- 婚姻期間が20年以上の夫婦間で、
- 居住用の不動産（居住用不動産の購入資金を含む。）

の贈与があった場合、基礎控除の60万円とは別に、最高2,000万円までの金額を控除出来るというものです。

贈与税は申告制で、申告期間は2月1日～3月15日です。早目に申告を済ませましょう。

▶詳しくは税務課課税係（内線252）へお尋ねください。

福祉巡回バス
を運行します

町では、高齢者の方などの利便を図り、町内施設をもっと利用していただくため、福祉巡回バス「すこやか号」を1月17日（月）から運行します。

運行は、土・日曜日、祝祭日と12月29日～1月3日を除く毎日。北部と南部を巡回する2路線を1日各2往復します。

停車場所と時刻表は別刷りのチラシのとおりで、料金は無料です。

各施設で開催される行事へのお出掛けなどにご利用ください。

▶詳しくは、保健センター（☎22-1021）へお尋ねください。

心配ごと相談
相談日変更のお知らせ

結婚相談は毎月第4水曜日、法律相談は毎月第4木曜日に行っていますが、1月に限り次のように変更します。

- 法律相談 1月26日（水）
 - 結婚相談 1月27日（木）
- （社会福祉協議会、☎23-3335）

年金メモ 忘れてはいませんか？ 加入の届け出

20歳になった方や勤めをやめた方などで、まだ国民年金への加入の手続きが済んでいない方はありませんか。国民年金は、国内に住んでいる20歳以上60歳未満の方で、他の公の年金制度に加入していない方が加入する制度です。

国民年金に加入することにより、国民みんなの明日の生活が何らかの年金制度で守られる仕組みになっています。今後さらに高齢化社会が進み、老後の生活は長くきびしいものとなります。その生活を支えるのは、何といっても公の

年金が中心です。

国民年金は、自分で届け出る方式のため、手続きが遅れている方もあるかと思いますが、早く加入の手続きを済ませてください。加入が遅れると、受給資格期間が足りなくて老後に年金を受給出来ない場合があります。

学生の皆さん、手続きはもう済みましたか！

20歳以上の方は、平成3年4月から国民年金に強制加入になりました。まだ加入していない方は、すぐに手続きを済ませましょう。

「おんさい岐阜」県民運動

推進優良団体に表佐太鼓踊保存会

岐阜県を訪れる人々が、心から「来て良かった」「また訪ねよう」と感じてもらえるような、「日本一住みよいふるさと・ぎふ」づくりを目指して、「おんさい岐阜」県民運動が展開されています。

岐阜県では毎年、県民運動の推進に功績のあった団体・個人を表彰しています。今年度は表佐太鼓踊保存会が受賞し、このほど上石津町で開か

れた「おんさい岐阜」県民運動“ふれあい・らいちゃま・ツアー”全体交流会の席上で表彰されました。



安心できる農地の貸借は 利用権設定等促進事業で

利用権設定等促進事業による利用権の設定は、農地法第3条の許可を受けずに農地の貸借が出来るものです。

この事業は、町が「農用地利用集積計画」を立てることにより農地の貸借が出来るもので、農地法第3条の許可と比べると手続きが簡単です。また、貸借期間が終了すると

無条件で地主に農地が返還されるので、安心して貸借出来ます。ただし、市街化区域内の農地については対象となりません。

この事業による農地の貸借を希望する方は、2月25日(金)までに農業委員会(産業課内、内線233)へ申請してください。

消費生活コーナー

あなたを狙う悪徳商法 その⑩

【見本工事商法】

今回は、「見本工事商法」という手口を紹介します。

ある日、セールスマンが家に来て「外壁をアルミサイディングにしてみませんか。お宅は場所がいいので、見本で工事をさせてくだされば半額におまけしますよ。ただし、お宅は特別ですからご近所には内緒にしてくださいね」と工事を勧められ、「半額」という言葉につられて契約してしまった。後日、カタログを見て同程度のものよりもはる

かに高いことが分かってもらった祭りで。

見本工事など、実際にはほとんどありません。

サイディング(外壁工事)やテラス、ベランダ、カーポートなどの取り換えや取り付け工事をするとき、必ず見積もりを取ってほかと比較する習慣をつけたいものです。

セールスマンの口車に乗せられて、悪徳商法に引っかかった見本にならないようにご注意ください。

ワープロ教室 受講生を募集

期 間 1月18日～3月22日
の毎週火曜日

場 所 中央公民館

時 間 午後7時30分～9時
30分

内 容 初歩的なワープロ操作技術の習得

対 象 町内在住・在勤者

定 員 10人(先着順)

受講料 無料(教材費は各自負担)

申し込み先 社会教育課(中央公民館内、内線224)

親子スケート教室 参加者を募集

と き 2月12日(土)午前9時～午後3時30分

と ころ メナード国際スケートセンター(関ヶ原町)

対 象 小・中学生とその保護者

定 員 200人

参加費 1人600円

持ち物 弁当、お茶、雨具、
保険証の写し、長ぐつ

申し込み 2月5日までに、
はがきに参加者全員の住所、

あったか福祉キーワード

⑨ 生活保護の原理

自分の生活は自分の責任で営むということは、ごく当たり前のことです。しかし時と場合によっては、だれしも生活困窮に陥る可能性を持っています。

ところで日本国憲法は、国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障しており、また保障するよう国に求めています。そして、その保障される権利を具現化するための制度の1つとして制定された法律が生活保護法です。

生活保護制度によって、貧困はある一定の限度で食い止められるわけですが、この制度は単に最低限度の生活を保障するだけではありません。生活保護の対象となった人たちが、再び自立した生活を送ることが出来るよう援助することも目的としています。

また、生活保護は画一的な給付を行うのではなく、困窮の程度に応じ最低限度の生活を維持するに足る給付が行われるものであることはいふまでもありません。生活困窮に陥った人の有する能力やあらゆる資産を活用し、扶養義務者による扶養や、他の福祉制度による扶助によってもなお最低限度の生活を維持することが出来ない時にはじめて、生活保護が無差別・平等に行われることになります。

冒頭にも述べたように、自分の生活は自分の責任で営むということが原則です。この意味で生活保護制度は、生活困窮に陥った人の最低限度の生活を支え、少しでも早く自立した生活を再び送ることが出来るよう援助する制度といえます。

氏名、性別、年齢、電話番号を明記し、関ヶ原青少年自然の家(〒503-15不破郡関ヶ原町今須3581 ☎43-5216)へ





たくましく育て
タレントの息子

ちよっぴり恥ずかしがり屋の潤一くん。幼稚園では給食をもりもり食べて、元気に走り回っています。今は自転車に乗るのに夢中。将来は野球選手になりたいそうです。「元気に遊べて、心身ともに健康な子に育ててもらいたい」とお母さんの恭子さん。

栗原・中瀬古
くり たじゅんいち
栗田 潤一くん(6歳)
(恒さんの長男)

人口と世帯 (12月1日現在)	世帯 8,227世帯(△8)
人口 28,882人(△20)	◇11月中の移動◇
 男	転入 60人 (△6)
 女	出生 22人 (△4)
14,233人(△9)	転出 85人 (+15)
14,649人(△11)	死亡 17人 (+3)

()は、前月との比較

1月16日(第3日曜日)は 家庭の日
「話し合い 心をつなぐ 明るい家庭」

- 望ましい家庭の在り方をみんなで話し合いその実現に努めましょう。
- お隣りとの交わりを大事にして、絶えず言葉を掛け合しましょう。

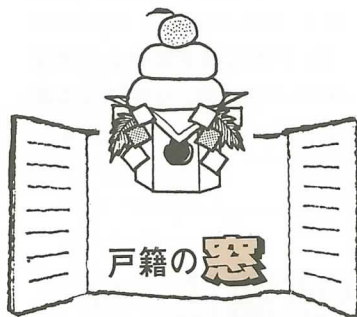
結 婚

(氏名)	(住所)
◎(広岡 洋彦)	宮代
(高木 あけみ)	養老町
◎(多賀 靖)	栗原
(安村 浩美)	綾戸
◎(嵐 義信)	府中
(西村 真寿美)	関ヶ原町
◎(桐山 清)	宮代
(加藤 郁子)	輪之内町
◎(横田 勝則)	宮代
(藤井 めぐみ)	綾戸
◎(森島 光男)	輪之内町
(日比 昌子)	宮代
◎(佐竹 雄二)	養老町
(高木 美由紀)	表佐
◎(小林 博之)	新井
(中山 ゆかり)	養老町
◎(中嶋 貴幸)	垂井
(樋山 公子)	垂井
◎(成瀬 由一)	表佐
(千葉 一恵)	大垣市

◎(志水 宏 綾戸
北川 悦子 大垣市)

お 誕 生

(住所) (保護者) (赤ちゃん) (続柄)
垂井 橋本義徳 千奈 長女



(11月21日~12月20日)

府中	藤本利信	雅人	長男
垂井	田中寿一	邦清	二男
宮代	藤塚智尚	琴美	二女
表佐	西尾英樹	知徳	三男
垂井	中島裕二	千尋	長女

梅谷	桐山幸利	敏和	長男
綾戸	吉田芳彦	昌弘	長男
大滝	矢島一仁	礼菜	長女
府中	高木憲優	悠衣	長女
垂井	田中光博	希奈	長女
垂井	中川英俊	千世	二女
垂井	日比野誠司	卓紀	長女
宮代	桐山輝夫	竜平	二男
垂井	河合浩司	真希江	長女
垂井	山田 啓	志歩	長女
岩手	高木康一	大和	長男
宮代	奥村一男	貢一郎	長男
垂井	根本光広	涼平	三男
清水	兵頭光弘	悠希	二男
綾戸	坪井邦夫	欣邦	長男

お く や み

(住所)	(氏名)	(年齢)
表佐	山田榮治郎	89歳
岩手	森 晃	57歳
表佐	高木千代子	69歳
栗原	多賀 孝治	60歳
宮代	辻 博子	50歳
綾戸	柳瀬 敏勝	62歳
府中	吉村 良逸	87歳
新井	若山 一三	77歳
表佐	山田さや	79歳
府中	水野 竹雄	54歳
岩手	古田 政枝	91歳
府中	高木 青一	87歳
垂井	川平 博	65歳
岩手	渡邊 利一	67歳
表佐	高木 賢一	88歳

後 記 今年の干支は戌。犬は家畜の中で人間と最も古い付き合いをしている動物で、人間社会に様々な貢献をしています。盲導犬や警察犬、麻薬犬など、これからも助け合っていきたいものです。

ところで、正月遊びにつきものの犬棒カルタ。最近「犬も歩けば棒に当たる」を、歩き回ればチャンスに会えると解釈する人が多いとか。いずれにしても、今年はいいチャンスをつかみたいですね。